

# カペシタビン療法（単剤）

	day1	8	15	29
カペシタビン 2500mg/m <sup>2</sup> 1日2回経口内服 14日内服7日休薬	タより		朝まで	

## B法について

体表面積: 1.33m <sup>2</sup> 未満	1500mg/回
1.33m <sup>2</sup> 以上1.57m <sup>2</sup> 未満	1800mg/回
1.57m <sup>2</sup> 以上1.81m <sup>2</sup> 未満	2100mg/回
1.81m <sup>2</sup> 以上	2400mg/回

※推定Ccrにより減量基準はないが、30mL/min以下は投与不可  
(推定Ccrが40～60の場合減量することあり)

## • 副作用

骨髄抑制、食欲不振、下痢、口内炎、色素沈着、手足症候群

※上記症状により減量等の対応が必要と考えられた場合

・1段階減量

→スケジュール変更はない。



# カペシタビンによる手足症候群

- 機序：皮膚基底細胞の増殖能の阻害、エクリン汗腺からの薬剤分泌等が原因と言われる。
- 症状：軽度のもので紅斑、色素沈着、高度のものでは疼痛を伴って発赤・腫脹し、水疱、びらんを形成することもある。
- 対応：最低1日2回の保湿、VB6内服
- 中止基準：grade2で休薬  
grade2→腫脹を伴う有痛性皮膚紅斑、爪甲の高度な変形、脱落

痛くなったら休薬